SONY®

4-267-065-**02**(1)

IC レコーダー

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。

この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

IC RECORDER

ICD-BX312

⚠警告 安全のために

事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

- **安全のための注意事項を守る**
- **故障したら使わない**
- **万一異常が起きたら、お買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理を依頼する**

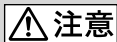
警告表示の意味

この取扱説明書では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠危険

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・破裂などにより死亡や大けがなど人身事故が生じます。

⚠警告

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

⚠注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号

火災

感電

行為を禁止する記号

禁止

分解禁止

ぬれ手禁止

接触禁止

下記の注意事項を守らないと火災・感電により死亡や大けがの原因となります。

運転中は使用しない

- 自動車、オートバイなどの運転をしながらヘッドホンなどを使用したり、細かい操作をしたり、表示画面を見ることは絶対におやめください。交通事故の原因となります。
- また、歩きながら使用するときも、事故を防ぐため、周囲の交通や路面状況に充分ご注意ください。

内部に水や異物を落とさない

水や異物が入ると火災や感電の原因となります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに電池を抜き、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。

湿気やほこり、油煙、湯気の多い場所や、直射日光のあたる場所には置かない

火災や感電の原因となることがあります。とくに風呂場では絶対に使用しないでください。

雷が鳴りだしたら、電源プラグに触れない

感電の原因となります。

著作権と商標について

著作権について

- 権利者の許諾を得ることなく、このマニュアルの全部または一部を複製、転用、送信等を行うことは、著作権法上禁止されております。
- あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上権利者に無断で使用できません。著作権の対象になっている画像やデータの記録されたメモリースティック™メディアは、著作権法の規定による範囲内で使用する以外はご利用いただけませんので、ご注意ください。

商標について

- 本機はFraunhofer IISおよびThomsonのMPEG Layer-3オーディオコーディング技術と特許に基づく許諾製品です。
- microSDおよびmicroSDHCロゴはSD-3C, LLCの商標です。
- “メモリースティック マイクロ”、“M2”および は、ソニー株式会社の商標または登録商標です。
- “MagicGate”はソニー株式会社の商標です。

その他、本書で登場するシステム名、製品名、サービス名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中では®、™マークは明記していません。

本製品はメモリースティック マイクロ™（M2™）メディアに対応しています。
“M2™”は“メモリースティック マイクロ™”の略称です。本文では今後略称M2™を用いて記述します。

目次

準備

基本の操作

その他の録音操作

その他の再生操作

編集する

メニューについて

その他

困ったときは

準備1：箱の中身を確認する

本体(1)

ソニー単4形アルカリ乾電池(2)

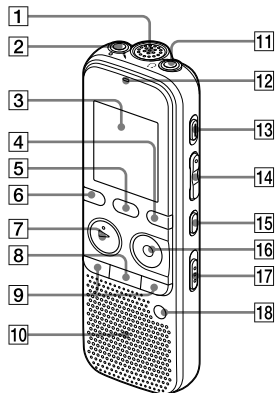
取扱説明書(1)

保証書(1)

上手な録音ガイド(1)

この取扱説明書で説明している以外の変更や改造を行った場合、本機を使用できなくなることがありますので、ご注意ください。

各部のなまえ

本体(表面)

1 内蔵マイク

2 (マイク)ジャック*[1]

3 表示窓

4 表示／メニューボタン

5 シーンボタン

6 フォルダボタン

7 ►再生／停止・決定ボタン*[1]

8 ■（停止）ボタン

9 −⏮/⏭＋（早戻し／早送り／選択）ボタン

10 スピーカー

11 🎧（ヘッドホン）ジャック*2

12 録／再ランプ

13 消去ボタン

14 音量−／＋*1ボタン

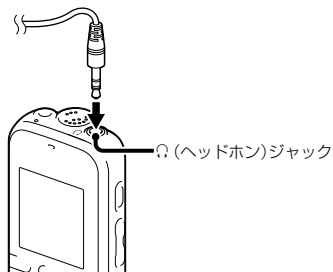
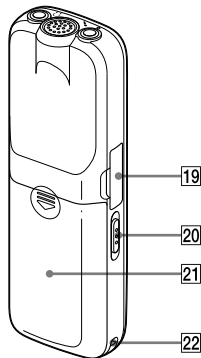
15 🔁（リピート） A-Bボタン

16 ● 録音／一時停止ボタン

17 ノイズカットスイッチ

18 トラックマークボタン

*1 凸点（突起）がついています。操作の目安、端子の識別としてお使いください。

*2 ヘッドホン（別売）を🎧（ヘッドホン）ジャックに差し込みます。雑音が入るときはヘッドホンのプラグをきれいに拭いてください。

本体（裏面）

19 M2™/microSDメモリーカードスロット

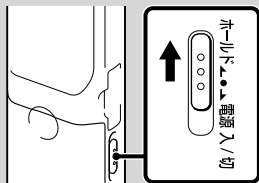
20 ホールド・電源 入／切スイッチ

21 電池ぶた

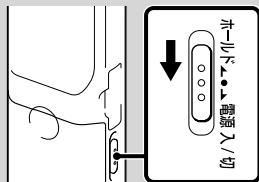
22 ストラップ取り付け部
（ストラップは付属していません。）

誤操作を防止する(ホールド)

本機を持ち運ぶ際など、誤ってボタンが押されて動作するのを防ぐために、すべてのボタン操作を無効にすることができます(ホールド)。

本機をホールド状態にするには

ホールド・電源 入／切スイッチを「ホールド」の方向にスライドします。
「ホールド」が約3秒間表示され、すべてのボタン操作が無効になります。

ホールド中にボタンを操作した場合、「ホールド中 解除してください」が表示されます。

ホールドを解除するには

ホールド・電源 入／切スイッチを中央位置にスライドします。

ご注意

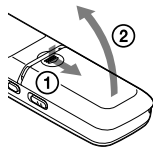
録音中にホールドにした場合、すべてのボタン操作が無効になります。録音を止めるには、まずホールドを解除してください。

ホールド中でもアラーム再生は止められます。

アラーム再生時、どのボタンを押してもアラーム音やファイル再生を止めることができます。(通常のファイル再生は停止できません。)

準備2：電池を入れる

1 電池ぶたを矢印の方向へずらして開ける。

電池ぶたは落としたり、無理な力を加えたりするとはずれることがあります。そのときは上の図のようにはめ直してください。

2 単4形アルカリ乾電池（付属）を2本入れ、ふたを閉める。

お買い上げのあと初めて電池を入れたときや、電池を抜いたまま長時間お使いにならなかったあとに電池を入れたときには、時計設定画面が表示されます。「準備4：時計を合わせる」（13ページ）の手順に沿って時計を合わせてください。

ヒント

- 電池を交換する際、電池を取りはずしても録音したファイルやアラーム設定は消えません。
- 電池を交換する際、電池を取りはずしても約1分間、時計は動いています。

使用できる電池と充電池

本機では、以下の乾電池、充電池をお使いになれます。

- 単4形アルカリ乾電池2本（付属）
- 充電式ニッケル水素電池単4形（別売）：NH-AAA-2BKB

充電器は、以下の製品をご利用ください。

- ニッケル水素電池専用急速充電器（別売）：BCG34HSS

ご注意

- 乾電池は電池のメーカーや種類によって性能のばらつきがあり、使用時間の目安に対して特に低温下では短くなる場合があります。
- 乾電池を交換するときは、必ず2本とも新しい乾電池に交換してください。
- 単4形アルカリ乾電池は充電できません。
- 長時間ご使用にならない場合は、電池の消耗を抑えるために、電池をはずしておくことをおすすめします。

使用できない電池

マンガン電池

電池を交換する時期

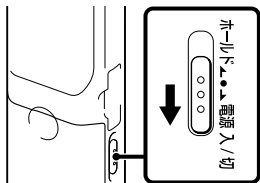
電池の残量が少なくなってくると、表示窓のアニメーション表示でお知らせします。

電池の残量表示

：「電池が残りわずかです」が表示されます。電池の交換時期が近づいています。

：「電池残量がありません」が表示され、操作ができなくなります。

準備3：電源を入れる

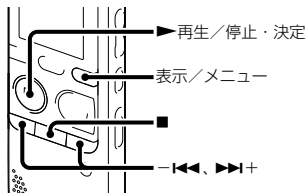
電源を入れるには

ホールド・電源 入／切スイッチを「電源 入／切」の方向へ1秒以上スライドすると、「アクセス中...」のアニメーションが表示され電源が入ります。

電源を切るには

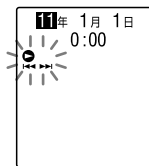
ホールド・電源 入／切スイッチを「電源 入／切」の方向へ2秒以上スライドすると、「電源オフ」が表示されます。
しばらくたつと表示が消灯して電源が切れます。

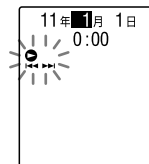
ヒント

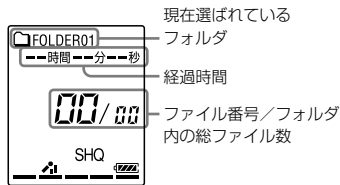
- 長時間ご使用にならない場合は、電源を切っておくことをおすすめします。
- 停止状態で操作をしないまま放置していると、「オートパワーオフ」機能が働きます。（お買い上げ時は、設定は10分になっています。）メニューでオートパワーオフ設定を変更すると、電源オフまでの時間を変更できます（67ページ）。

準備4：時計を合わせる

アラーム機能を使用したり、録音した日時を記録するためには、本機の時計を合わせておく必要があります。
お買い上げのあと、初めて電池を入れたときや、電池を抜いたまま約1分以上お使いにならなかったあとに電池を入れたときは、「時計を設定してください」のメッセージのあとに、時計設定画面が表示されます。

1 年を合わせる。
−⏮または⏭＋ボタンを押して、数字を選び、►再生／停止・決定ボタンを押す。

年を設定するときは、西暦の下2桁の数字を選んでください。

►再生／停止・決定ボタンを押すと、月表示にカーソルが移動します。

2 手順1と同様に、月日と時分を合わせる。
−⏮または⏭＋ボタンを押して、数字を選び、►再生／停止・決定ボタンを押して、月、日、時、分の順で設定します。

分まで設定すると「実行中...」のアニメーションが表示され、停止画面が表示されます。

何も録音されていないお買い上げ時は、以下のような画面が表示されます。

ご注意

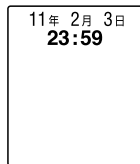
- それぞれの手順の間を1分以上あけると、時計合わせがキャンセルされ、停止画面に戻ります。
- 時計設定中に、時計設定に使用するボタン以外のボタンを誤って押すと、時計合わせがキャンセルされます。メニューを使って時計設定をやり直してください。

メニューを使って時計を合わせるには

停止中にメニューを使って時計を合わせることができます。

表示／メニューボタンを長押しして、メニューモードに入り、詳細メニューから「時計設定」を選びます（67ページ）。

現在日時を表示するには

停止中に ■（停止）ボタンを押すと、現在日時が約3秒間表示されます。

録る

ご注意

- 録音を始める前に、必ず電池残量表示(11ページ)を確認してください。
- 録音中、本機に手などがあたったり、こすったりすると雑音が録音されてしまうことがあります。ご注意ください。

ヒント

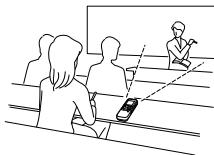
- 録音をする前に、あらかじめためし録りするか、録音モニター(35ページ)をしながら録音することをおすすめします。
- 録音の設定は、付属の「上手な録音ガイド」を参照してください。

録音を始める

1 ホールド・電源 入/切スイッチを中央位置にスライドし、ホールドを解除する(9ページ)。

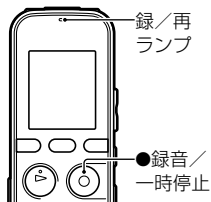
停止画面が表示されます。

2 録音したいフォルダを選ぶ(21ページ)。

3 内蔵マイクを録音する音の方向へ向ける。

4 停止中に ● 録音／一時停止ボタンを押す。

録／再ランプがオレンジに点滅後、赤く点灯します。（メニュー「ランプ」を「オフ」に設定しているときは点灯しません（66ページ）。）

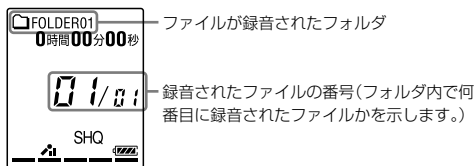
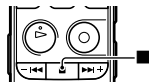
● 録音／一時停止ボタンは、録音中ずっと押し続ける必要はありません。

新しいファイルは自動的に一番最後に録音されます。

ヒント

表示／メニューボタンを押して、録音経過時間をほかの表示（残り時間、ファイル名など）に切り換えることができます（23ページ）。

録音を止める

1 ■（停止）ボタンを押す。

「アクセス中...」のアニメーションが表示され、今録音したファイルのはじめで停止します。
録音したファイルは、後ほどフォルダ名とファイル番号で探して再生することができます。

アクセス中のご注意

画面上に「アクセス中...」のアニメーションが表示されている間、または録／再ランプがオレンジに点滅している間は、メモリーへ録音データを記録しています。アクセス中は、電池をはずしたりしないでください。データが破損するおそれがあります。

その他の操作

録音を一時停止する*	● 録音／一時停止ボタンを押す。 録音一時停止中は録／再ランプが赤く点滅し、「一時停止」表示が点滅します。
録音一時停止を解除する	もう一度 ● 録音／一時停止ボタンを押す。 先ほど録音していたファイルに続けて録音することができます。（録音一時停止後、録音を続けずに停止するときは、■（停止）ボタンを押します。）
今録音したばかりのファイルを聞く	► 再生／停止・決定ボタンを押す。 録音が解除され、今録音したファイルのはじめから聞くことができます。
早戻し（レビュー）再生する	録音中または録音一時停止中に－⏮ボタンを長押しする。 録音が解除され、今録音したところが早戻し（レビュー）再生されます。－⏮ボタンを離すと、離したところから再生が始まります。

* 録音を一時停止して約1時間たつと、録音一時停止は解除され、録音停止になります。

ヒント

- 本機で録音されるファイルはMP3形式になります。
- ひとつのフォルダには最大199件のファイルが録音できます。

メモリー残量表示について

残量が減ると、ひとつずつ消えていきます。録音中に残り時間が10分を切るとメモリー残量表示が点滅し、残り時間が1分を切ると、カウンター表示が「残り時間」表示モードに切り替わり、残量表示とカウンター表示が点滅します。不要なファイルを消去してください。

シーンに合わせた録音をするには（シーンセレクト）

シーンセレクト機能を使って、さまざまな録音シーンに合わせて、録音モード（65ページ）やマイク感度（66ページ）などの録音に必要な項目を、一括でおすすめの設定に切り換えることができます。シーンセレクトについて詳しくは26ページをご覧ください。

聞く

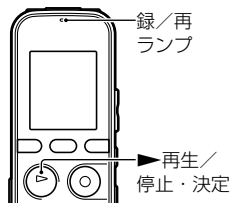
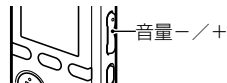
再生を始める

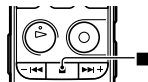
1 ホールド・電源 入／切スイッチを中央位置にスライドし、ホールドを解除する（9ページ）。

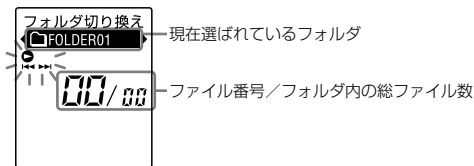
停止画面が表示されます。

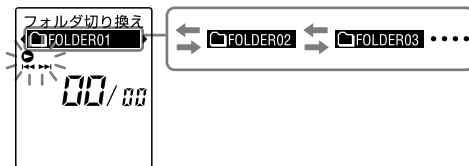
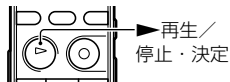
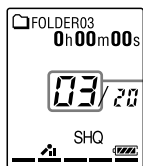
2 再生したいファイルを選ぶ（21ページ）。

3 ►再生／停止・決定ボタンを押す。

すぐに再生が始まり、録／再ランプが緑に点灯します。（メニュー 「ランプ」を「オフ」に設定しているときは点灯しません（66ページ）。）

4 音量－／＋ボタンを押して、音量を調節する。

再生を止める

1 ■（停止）ボタンを押す。

フォルダとファイルを選ぶ

1 フォルダボタンを押してフォルダ選択画面を表示する。

2 −⏮または⏭＋ボタンを押してフォルダを選ぶ。

FOLDER01 ～ 05の5個のフォルダから選ぶことができます。

3 ►再生／停止・決定ボタンを押す。

4 −⏮または⏭+ボタンを押して、ファイルを選ぶ。

⏭+ボタンを押すたびに、フォルダ内の後ろのファイルが、
−⏮ボタンを押すたびに、前のファイルが選択されます。

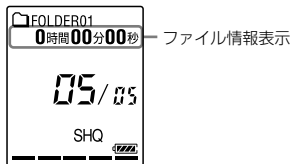
その他の操作

再生の途中、その位置で停止する	► 再生／停止・決定ボタンを押す。 もう一度 ► 再生／停止・決定ボタンを押すと、止めたところから再生が始まります。
今聞いているファイルの頭に戻る	−⏮ボタンを短く1回押す。*1*2
前のファイル、さらに前のファイルに戻る	−⏮ボタンを短く何回か押す。 （停止中は押したままにすると、連続して戻ります。*3）
次のファイルに進む	⏭+ボタンを短く1回押す。*1*2
さらに次のファイルに進む	⏭+ボタンを短く何回か押す。 （停止中は押したままにすると、連続して進みます。*3）

*1 トラックマークが設定されている場合は、前後のトラックマークの位置まで戻り、または進みます（51ページ）。

*2 メニュー「イージーサーチ」が「オフ」に設定されている場合の操作です（36ページ）。

*3 トラックマークには止まりません。

画面表示について

表示／メニューボタンを押して、ファイル情報を切り換えて確認することができます。本機で録音されたファイルは、以下のように表示されます。

経過時間：1ファイルの経過時間

残り時間：録音中は録音可能時間、停止中または再生中は1ファイルの残り時間

録音日時：録音した日時

：ファイル名（停止中または再生中のみ）：年月日_番号(例：110101_001)

：タイトル（停止中または再生中のみ）：年月日_番号(例：110101_001)

：アーティスト名（再生中のみ）：アーティスト名（例：My Recording）

消す

ご注意

一度消去した内容はもとに戻すことはできません。ご注意ください。

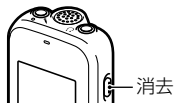
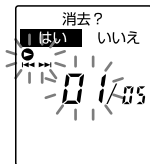
ファイルを選び消去する

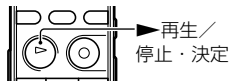
1 ホールド・電源 入／切スイッチを中央位置にスライドし、ホールドを解除する（9ページ）。

停止画面が表示されます。

2 停止中または再生中に消去したいファイルを選ぶ（21ページ）。

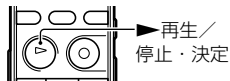
3 消去ボタンを押す。

「消去？」と表示され、確認のため、選んだファイルが再生されます。

4 －◀◀または▶▶I＋ボタンを押して、「はい」を選ぶ。

5 ► 再生／停止・決定ボタンを押す。

「消去中...」のアニメーションが表示され、ファイルが1件消去されます。
ファイルを消すと、次のファイルが自動的に繰り上がるので、間に空白部分は残りません。

►再生／停止・決定

01番のファイルが削除され、以降のファイルが繰り上がり、フォルダ内のファイル数が05から04に減ります。

途中で消去をやめる

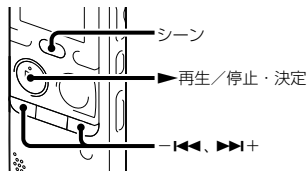
1 「ファイルを選び消去する」の手順4で「いいえ」を選び、► 再生／停止・決定ボタンを押す。

ほかのファイルを消去するには

「ファイルを選び消去する」の手順2から手順5を繰り返します。

ひとつのファイルの一部分だけ消去するには

ファイル分割（55ページ）で消去する部分としない部分に分け、消去したい部分のファイル番号を選んで、「ファイルを選び消去する」の手順3から手順5の操作をします。

録音の設定を変える

用途に合わせた録音シーンを選ぶ

さまざまな録音シーンに合わせて、録音モード（65ページ）やマイク感度（66ページ）などの録音に必要な項目を、一括でおすすめの設定に切り換えることができます。

1 停止中にシーンボタンを押す。
シーンセレクト選択画面が表示されます。

2 －⏮または⏭＋ボタンを押して、お好みのシーンを選び、►再生／停止・決定ボタンを押す。

選んだシーンに対応したアイコンが表示されます。

会議（ ）	会議室での録音など、幅広い用途に適しています。
ボイスメモ（ ）	マイクを口元に近づけて録音するときに適しています。
インタビュー（ ）	1 ～ 2mくらいの距離で人の声を録音するときに適しています。
おけいこ（ ）	広い音声帯域で収音します。教室での講座や、合唱の練習を録音するときに適しています。
オーディオ入力（ ）	ポータブルCD ／ MDプレーヤー、テープレコーダーなど、ほかの機器の音声出力端子（ステレオミニジャック）と本機を接続してダビングするときの設定です。

ご注意

- 録音中にシーン設定することはできません。
- シーンセレクト選択画面が表示されてから、操作しない状態が60秒以上続くと、停止画面になります。

シーンセレクトの設定内容

それぞれのメニュー、設定項目について詳しくは63 ～ 66ページをご覧ください。

	会議()	ボイスメモ()	インタビュー()
VOR	オフ	オフ	オフ
録音モード	192kbps (MONO) (SHQ)	128kbps (MONO) (HQ)	192kbps (MONO) (SHQ)
マイク感度	中()	低()	中()
LCF(Low Cut)	オン	オン	オン
外部入力選択	MIC IN	MIC IN	MIC IN

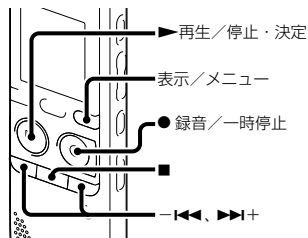
	おけいこ()	オーディオ入力()
VOR	オフ	オフ
録音モード	192kbps (MONO) (SHQ)	192kbps (MONO) (SHQ)
マイク感度	中()	低()
LCF(Low Cut)	オフ	オフ
外部入力選択	MIC IN	Audio IN

ヒント

シーンセレクト以外にも上手に録音するための設定方法があります。
それぞれの用途に合わせた、より詳細な録音設定については、付属の「上手な録音ガイド」、およびICレコーダーカスタマーサポートページをご覧ください。
http://www.sony.jp/support/ic-recorder

ご注意

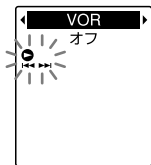
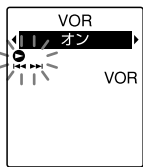
シーンセレクトの設定内容を変更することはできません。録音モード(65ページ)やマイク感度(66ページ)などをお好みの設定に変更したい場合は、メニューで個別に設定を変更してください。

音がしたとき自動録音する — VOR (Voice Operated Recording)録音

ある大きさ以上の音をマイクが拾うと自動的に録音が始まり、音が小さくなると録音が一時停止するように、メニューで設定することができます。

1 停止中または録音中に表示／メニューボタンを長押しして、メニューモードに入る。

メニュー画面が表示されます。

その他の録音操作

2 −⏮または⏭＋ボタンを押して、「VOR」を選び、►再生／停止・決定ボタンを押す。

3 −⏮または⏭＋ボタンを押して、「オン」を選び、►再生／停止・決定ボタンを押す。

お買い上げ時は、「オフ」設定になっています。

4 ■（停止）ボタンを押して、メニューモードを終了する。

5 ● 録音／一時停止ボタンを押す。

「VOR」と **REC** が表示されます。

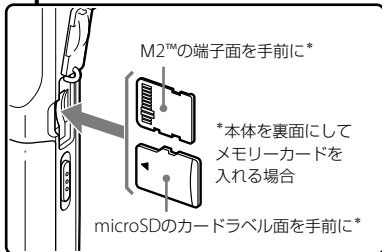
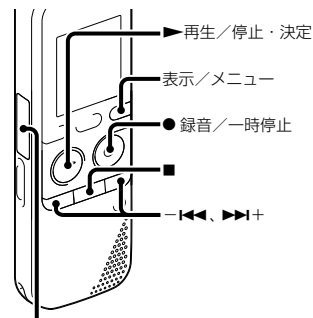
マイクで拾う音が一定レベル以下まで小さくなると、「一時停止」が点滅して、VOR録音が一時停止状態になります。
VOR録音一時停止状態のときに、マイクが一定レベル以上の大きさの音を拾うと、VOR録音が再開されます。

VOR録音を解除するには

手順3で「VOR」を「オフ」にします。

ご注意

VOR機能は周囲の環境に左右されます。状況に合わせてマイク感度を切り換えてください（66ページ）。マイク感度を切り換えても思いどおりに録音できないときや、大切な録音をするときは、メニューで「VOR」を「オフ」に設定してください。

メモリーカードに録音する

本機では、内蔵メモリーのほかに、別売のメモリーカードに音声を記録できます。

本機で使用できるメモリーカード

本機では、以下のメモリーカードをお使いになれます。

- メモリースティック マイクロ™(M2™)：16 GBまで対応。
- microSDカード：2 GB以下(FAT16)のmicroSDまたは4 GB ～ 32 GB (FAT32)のmicroSDHC。

64 MB以下のカードについては対応しておりません。

当社基準において動作確認をしたmicroSD/microSDHCカードは次のとおりです。

microSD/microSDHCカード

発売元	2 GB	4 GB	8 GB	16 GB	32 GB
SONY	○	○	○	－	－
東芝	○	○	○	○	－
Panasonic	○	○	○	○	－
SanDisk	○	○	○	○	○

○：動作確認済み

－：未確認

2011年1月現在

ICD-BX312では、2011年1月現在発売されているメモリーカードによる動作確認を行っています。

その他の録音操作

最新の動作確認済みメモリーカードについては、ICレコーダーカスタマーサポートページ
http://www.sony.jp/support/ic-recorder
をご覧ください。

本書では、M2™とmicroSDカードを総称して「メモリーカード」と呼びます。
また、M2™/microSDメモリーカードスロットは「メモリーカードスロット」と呼びます。
メモリーカードに記録・再生できるファイルのサイズは本機の仕様上、1ファイルにつき
500 MB未満です。
また、1枚のメモリーカードに記録できるファイル数は、本機の仕様上、最大995件です。

ご注意

すべてのメモリーカードの動作を保証するものではありません。

メモリーカードを入れる

録音する前に、メモリーカードに保存されているデータをパソコンに保存し、本機で
フォーマットして空の状態にしてからお使いください(68ページ)。

1 停止中にメモリーカードスロットのカバーを開ける。

2 前ページの図の向きで、M2™またはmicroSDカードをメモリーカードスロットに、カチッと音がする奥までしっかり差し込み、カバーを閉める。

メモリーカードを取り出すには

メモリーカードを一度奥に押します。手前に出てきたら、メモリーカードスロットから取り出します。

フォルダとファイルの構成について

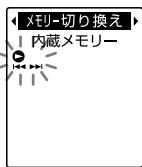
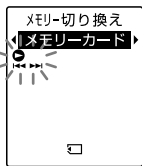
内蔵メモリーのフォルダとは別に、メモリーカード内にFOLDER01 ～ 05の5個のフォルダが作成されます。

ご注意

- 録音／再生／フォーマット中は、メモリーカードを抜き差ししないでください。故障の原因となります。
- 表示窓に「アクセス中...」のアニメーションが表示されている間はメモリーカードを取り出さないでください。データが破損するおそれがあります。
- メモリーカードが認識されない場合はメモリーカードを取り出し、再度入れ直してください。
- メモリーカードスロットのカバーは、しっかり閉じてください。また、挿入口には、液体・金属・燃えやすいものなど、メモリーカード以外のものは挿入しないでください。火災・感電・故障の原因となります。

メモリーカードに切り換える

1 停止中に表示／メニューボタンを長押しして、メニューモードに入る。
メニュー画面が表示されます。

2 −⏮または⏭＋ボタンを押して、「メモリー切り換え」を選び、►再生／停止・決定ボタンを押す。

3 −⏮または⏭＋ボタンを押して、「メモリーカード」を選び、►再生／停止・決定ボタンを押す。

お買い上げ時は、「内蔵メモリー」設定になっています。
メモリーカードがフォーマット済みの場合は手順7に進んでください。

4 メモリーカードをフォーマットしていない場合は、−⏮または⏭＋ボタンを押して、「詳細メニュー」を選び、►再生／停止・決定ボタンを押す。

5 −⏮または⏭＋ボタンを押して、「フォーマット」を選び、►再生／停止・決定ボタンを押す。
「フォーマット？」と表示されます。

6 −⏮または⏭＋ボタンを押して、「はい」を選び、►再生／停止・決定ボタンを押す。

7 ■（停止）ボタンを押して、メニューモードを終了する。

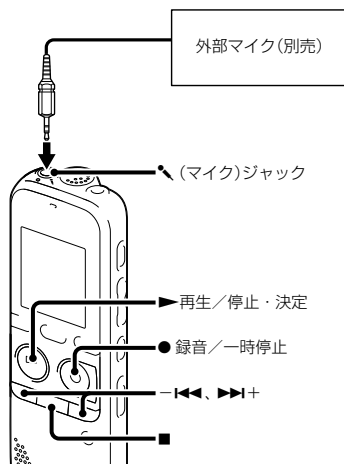
内蔵メモリーに戻すには

手順3で「内蔵メモリー」を選びます。

録音を開始するには

フォルダを選び、● 録音／一時停止ボタンを押します。
詳しい録音方法については15ページをご覧ください。

接続して録音する

外部マイクをつないで録音する

別売のステレオマイクを接続し、録音モードを「SHQ」、「HQ」モードに設定すると、ステレオで録音できます。
また、別売のステレオヘッドホンを使用することにより、ステレオ再生できます。

1 停止中に外部マイクを (マイク)ジャックにつなぐ。

画面に「外部入力選択」が表示されます。
「外部入力選択」が表示されない場合には、メニューで設定してください(66ページ)。

2 −◄◄または►►＋ボタンを押して、「MIC IN」を選び、►再生／停止・決定ボタンを押す。

お買い上げ時は、「MIC IN」設定になっています。

3 ■(停止)ボタンを押して、メニューモードを終了する。

4 ● 録音／一時停止ボタンを押す。

内蔵マイクは自動的に切れ、外部マイクの音を録音します。

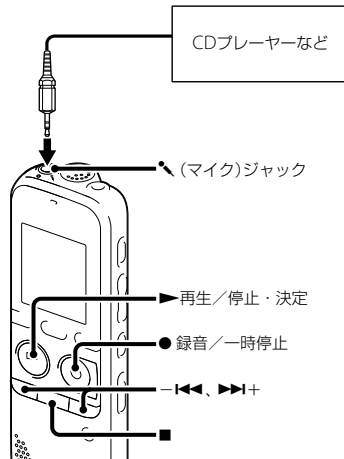
入力レベルが適正ではない場合は、本機のマイク感度の設定を変更してください（66ページ）。
プラグインパワー対応のマイクを使うと、マイクの電源は本機から供給されます。

5 ■（停止）ボタンを押して、録音を止める。

お使いになれるマイク
ソニー製エレクトレットコンデンサーマイクロホン（ステレオマイク）ECM-CS10、ECM-CZ10、ECM-DS70P、ECM-DS30P（別売）などをお使いいただけます。

電話機や携帯電話の音声を録音する
別売の電話録音用マイクECM-TL1を使うと、電話機や携帯電話での自分と相手の声を録音することができます。
接続方法などについて詳しくは、ECM-TL1の取扱説明書をご覧ください。

ご注意
- 録音する場合には、本機と接続後、通話状態と録音レベルをご確認の上ご使用ください。
- 呼び出し音、発信音を録音した場合、会話が小さい音で録音されることがあります。そのような場合には、通話状態になってから本機を録音状態にしてください。
- 電話機の種類、回線の状況によってVOR機能（27ページ）が働かないことがあります。
- 本機を使って通話録音をした場合、万一、これらの不都合により録音されなかった場合は、一切の責任を負いません。

ほかの機器の音声を録音する

CDプレーヤーなどほかの機器の音声を本機に録音することによって、パソコンを使わなくても、音楽ファイルを作成することができます。

その他の録音操作

「シーンセレクト」で「オーディオ入力」を選ぶと、ほかの機器の音声を録音するのに適した録音設定になります。設定方法は26ページをご覧ください。

ヒント

- 録音をする前に、あらかじめためし録りするか、録音モニター（35ページ）をしながら録音することをおすすめします。
- 入力レベルが適正ではない場合は、ほかの機器のヘッドホン端子（ステレオミニジャック）を使って本機と接続し、つないだ機器側で音量を調節してください。

1 停止中にほかの機器を本機につなぐ。

ほかの機器の音声出力端子（ステレオミニジャック）を別売のソニー製オーディオコード（71ページ）を使って、本機の（マイク）ジャックにつなぎます。
画面に「外部入力選択」が表示されます。
「外部入力選択」が表示されない場合には、メニューで設定してください（66ページ）。

2 －◀◀または▶▶I＋ボタンを押して、「Audio IN」を選び、▶再生／停止・決定ボタンを押す。

お買い上げ時は、「MIC IN」設定になっています。

3 ■（停止）ボタンを押して、メニューモードを終了する。

4 ● 録音／一時停止ボタンを押す。

内蔵マイクは自動的に切れ、つないだ機器の音声を録音します。

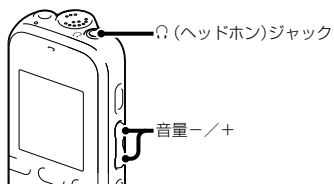
5 つないだ機器で再生を始める。

6 ■（停止）ボタンを押して、録音を止める。

ご注意

ほかの機器の出力がモノラルの場合、「録音モード」が「192kbps(MONO)」（SHQ）または「128kbps(MONO)」（HQ）に設定されていると、片方のチャンネルにしか音が録音されません。その場合は、「録音モード」を「48kbps(MONO)」（SP）または「8kbps(MONO)」（LP）に設定してください（65ページ）。

録音中に操作する

録音中の音をモニターする

市販のヘッドホンを (ヘッドホン)ジャックにつなぐと、録音中の音をモニターすることができます。
ヘッドホンからの音量(モニター音量)は、音量－／＋ボタンを押して調節します。録音される音量に影響はありません。

ご注意

ヘッドホン使用時に、ヘッドホンコードが本機に触れると、擦れ音として録音されてしまう場合があります。あらかじめコードを固定しておくことをおすすめします。

再生の設定を変える

より便利な再生方法

高音質で再生するには

- ヘッドホンで聞く：
  市販のヘッドホンを🎧（ヘッドホン）ジャックにつないでください。スピーカーからは音が出なくなります。
- 外部スピーカーで聞く：
  別売のアクティブスピーカーを🎧（ヘッドホン）ジャックにつないでください。

聞きたいところをすばやく探すには（イージーサーチ機能）

メニューの中で「イージーサーチ」を「オン」に設定しておくと、再生中に▶▶I＋または－I◀◀ボタンを何度か押して、聞きたいところまで早送り、早戻しをして聞くことができます（63ページ）。▶▶I＋ボタンを1回押すごとに約10秒先、－I◀◀ボタンを1回押すごとに約3秒前を再生します。会議録音などで、聞きたいところをすばやく探すのに便利です。

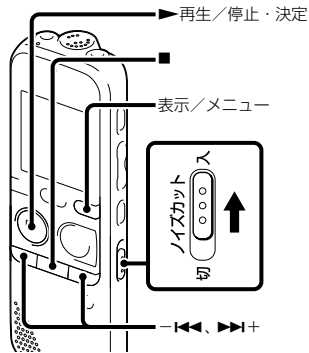
再生中に早送り／早戻しするには（キュー／レビュー）

- 早送り（キュー）：
  再生中に▶▶I＋ボタンを押したままにして、聞きたいところで離します。
- 早戻し（レビュー）：
  再生中に－I◀◀ボタンを押したままにして、聞きたいところで離します。

最初は少しずつ早送り／早戻しされるので、1語分だけ送ったり、戻したりして聞きたいときに便利です。押し続けると、高速での早送り／早戻しになります。

💡最後のファイルの終わりまで再生または早送り（キュー）すると

- 最後のファイルの終わりまで来ると、「FILE END」表示が約5秒間点灯します。
- 「FILE END」と録／再ランプが消えると、最後のファイルの頭に戻って止まります。
- 「FILE END」の点灯中に－I◀◀ボタンを押したままにすると、早戻しされ、離したところから再生が始まります。
- 最後のファイルが長時間のファイルの場合で、ファイル中の後ろの方を探して再生したい場合は、▶▶I＋ボタンを押し続けていったんファイルの最後まで早送りして、「FILE END」表示の点灯中に－I◀◀ボタンを押して聞きたいところまで早戻しして探すと便利です。
- 最後のファイル以外の場合は、次のファイルの頭に送ってから再生中に早戻しするとすばやく探せます。

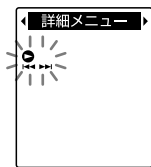
再生音の雑音を低減して音声を聞きやすくする — ノイズカット機能

再生時にノイズカットスイッチを「入」にすると、音声以外の周辺ノイズをカットします。音声帯域を含むすべての周波数帯域のノイズを低減するため、クリアな音質で再生することができます。

ご注意

- 録音した音声の状態によって、効果に違いが出る場合があります。
- 内蔵スピーカーで再生している場合は、ノイズカット機能は働きません。

ノイズカットレベルを設定するには

1 停止中または再生中に、表示／メニューボタンを長押しして、メニューモードに入る。
メニュー画面が表示されます。

2 －I◄◄または►►I＋ボタンを押して、「詳細メニュー」を選び、►再生／停止・決定ボタンを押す。

3 －I◄◄または►►I＋ボタンを押して、「ノイズカットレベル」を選び、►再生／停止・決定ボタンを押す。

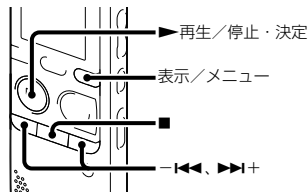
4 －⏮または⏭＋ボタンを押して、「強」または「弱」を選び、►再生／停止・決定ボタンを押す。

お買い上げ時は、「強」設定になっています。

5 ■（停止）ボタンを押して、メニューモードを終了する。

ノイズカットを解除するには

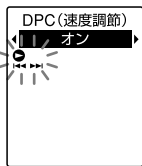
ノイズカットスイッチを「切」にします。

再生速度を調節する — DPC（Digital Pitch Control）

再生速度を0.50倍速から2.00倍速の間で調節できます。その際、音程はデジタル処理により、自然に近いレベルで再生します。

1 停止中または再生中に、表示／メニューボタンを長押しして、メニューモードに入る。

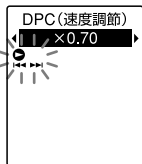
メニュー画面が表示されます。

2 －⏮または⏭＋ボタンを押して、「DPC（速度調節）」を選び、►再生／停止・決定ボタンを押す。

3 －⏮または⏭＋ボタンを押して、「オン」を選び、►再生／停止・決定ボタンを押す。

4 −⏮ボタンまたは⏭+ボタンを押して、再生速度を調節する。

−⏮ボタン:0.05倍速刻みで遅くする(x0.50 ~ x1.00)

⏭+ボタン:0.10倍速刻みで速くする(x1.00 ~ x2.00)

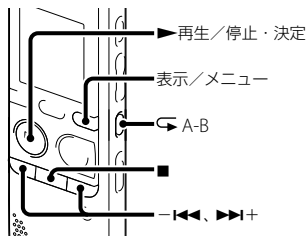
ボタンを長押しすると連続して設定できます。

お買い上げ時は、「x0.70」になっています。

通常の再生速度に戻すには

手順3で「オフ」を選びます。

ご注意

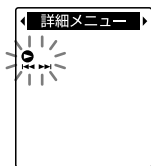
「DPC(速度調節)」を「オン」にして再生する場合、ノイズカット機能(37ページ)は働きません。

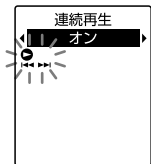
再生モードを変える

メニューやボタン操作で用途に応じた再生モードを選ぶことができます。

フォルダ内のファイルを連続再生するには

1 停止中または再生中に、表示/メニューボタンを長押しして、メニューモードに入る。

メニュー画面が表示されます。

2 －⏮または⏭＋ボタンを押して、「詳細メニュー」を選び、►再生／停止・決定ボタンを押す。

3 －⏮または⏭＋ボタンを押して、「連続再生」を選び、►再生／停止・決定ボタンを押す。

4 －⏮または⏭＋ボタンを押して、「オン」を選び、►再生／停止・決定ボタンを押す。

お買い上げ時は、「オフ」設定になっています。

5 ■（停止）ボタンを押して、メニューモードを終了する。

1件ファイル再生に戻すには

手順4で「オフ」を選びます。

1件リピート再生するには

再生中に►再生／停止・決定ボタンを長押しします。

「⤷1」が表示され、そのファイルが繰り返し再生されます。

通常再生に戻るには、►再生／停止・決定ボタンを押します。

必要な部分だけを再生するには — A-Bリピート

1 再生中に ⮎（リピート） A-Bボタンを押して、A点を指定する。
「A-B B?」が表示されます。

2 もう一度 ⮎（リピート） A-Bボタンを押して、B点を指定する。
「⮎A-B」が表示されて、指定した区間が繰り返し再生されます。

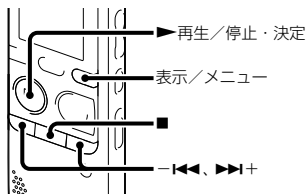
A-Bリピート再生を止めて通常の再生に戻すには：
►再生／停止・決定ボタンを押します。

A-Bリピート再生を停止するには：
■（停止）ボタンを押します。

A-Bリピートの範囲を変えるには：
A-Bリピート再生中にもう一度 ⮎（リピート） A-Bボタンを押すと、手順1に戻り、新しいA点が設定されます。手順2に従ってB点を指定します。

ご注意

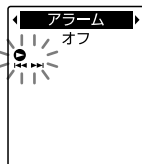
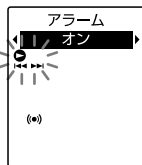
A点およびB点は、ファイルの先頭または終端付近や、トラックマーク付近では設定できません。

希望の時刻に再生を始める — アラーム再生

あらかじめ設定した時刻にアラーム音とともにファイルを再生できます。
特定の日付を指定したり、毎週同じ曜日や毎日同じ時刻に再生するように設定できます。
1ファイルにつき1件のアラームが設定できます。

1 アラーム再生したいファイルを表示させる。

2 アラーム設定をする。

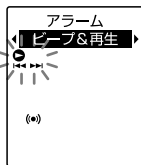
① 停止中に表示／メニューボタンを長押しして、メニューモードに入る。
メニュー画面が表示されます。

② －⏮または⏭＋ボタンを押して、「アラーム」を選び、►再生／停止・決定ボタンを押す。

③ －⏮または⏭＋ボタンを押して、「オン」を選び、►再生／停止・決定ボタンを押す。

お買い上げ時は、「オフ」設定になっています。

3 アラーム再生したい日時、時刻を設定する。

① －⏮または⏭＋ボタンを押して、「日時」、「月曜日」や「火曜日」など設定したい曜日、または「毎日」を選び、►再生／停止・決定ボタンを押す。

②「日時」を選んだ場合：
「準備4：時計を合わせる」（13ページ）に従って年月日、時刻を設定する。
曜日や「毎日」を選んだ場合：
－⏮または⏭＋ボタンを押して、「時」を選び、►再生／停止・決定ボタンを押し、同じように－⏮または⏭＋ボタンを押して、「分」を選び、►再生／停止・決定ボタンを押す。

4 －⏮または⏭＋ボタンを押して、お好みのアラームパターンを選び、►再生／停止・決定ボタンを押す。

お買い上げ時は、「ビープ&再生」設定になっています。
「実行中...」のアニメーションが表示されます。

5 ■（停止）ボタンを押して、メニューモードを終了する。

ビープ&再生	ビープ音のあとに選んだファイルを再生します。
ビープ	ビープ音のみを鳴らします。
再生	選んだファイルのみを再生します。

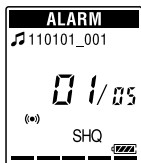
設定内容を変更するには

変更したいアラームが設定されているファイルを表示させ、手順2 ～ 5で変更したい内容を設定します。

設定内容を解除するには

手順2-③で「オフ」を選び、►再生／停止・決定ボタンを押すと、アラームは解除されます。表示窓のアラーム表示が消えます。

設定した時刻になると

「ALARM」が表示されて、アラーム再生が始まります。

再生が終わると、自動的に停止します（アラームパターンで「ビープ&再生」または「再生」が設定されている場合は、アラーム再生したファイルの頭に戻ります）。

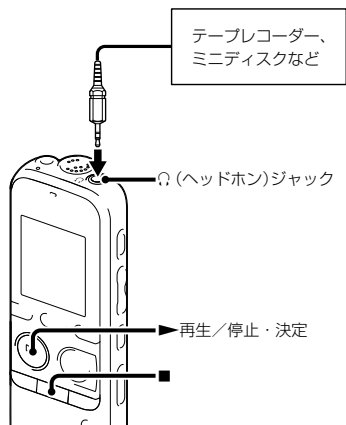
アラーム再生を止めるには

アラーム再生中に音量－／＋以外のボタンを押します。ホールド中は、どのボタンを押しても止められます。

ご注意

- 1件のファイルには1個のアラームしか設定できません。
- 時計を合わせていない場合や、録音したファイルがない場合は、アラーム設定はできません。
- メニューで「操作音」を「オフ」に設定していてもアラームが鳴ります（67ページ）。
- データ更新中にアラーム設定した時刻になった場合は、そのアラームは自動的に破棄されます。
- 2つ以上のアラーム設定時刻になった場合は、時刻の早い方のファイルのみアラームが鳴ります。
- アラーム設定したファイルを分割した場合、分けた時点より前のファイルにのみアラーム設定されます。
- アラーム設定したファイルを消去すると、ファイルに設定されたアラームも一緒に解除されます。
- メモリーカードに保存されているファイルには、アラーム設定できません。

接続して再生する

本機の音声をほかの機器で録音する

ほかの機器で本機の音声を録音できます。録音をする前に、あらかじめためし録りをしてから、録音することをおすすめします。

1 本機の (ヘッドホン)ジャックとほかの機器の外部入力端子を、別売のソニー製オーディオコード(71ページ)を使ってつなぐ。

2 本機の ►再生／停止・決定ボタンを押して再生状態にし、同時に、つないだ機器の録音ボタンを押して、録音状態にする。

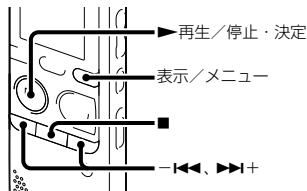
本機のファイルがほかの機器に録音されます。

3 録音を止めるには、本機の ■(停止)ボタンを押し、つないだ機器の停止ボタンを押す。

ヒント

録音された音量が適切でない場合は、本機の再生音量を調節してください(20ページ)。

フォルダ内のファイルを整理する

ファイルを別のフォルダに移動する

1 移動させたいファイルを選ぶ。

2 停止中に表示／メニューボタンを長押しして、メニューモードに入る。
メニュー画面が表示されます。

3 －I◄◄または►►I＋ボタンを押して、「移動・コピー」を選び、►再生／停止・決定ボタンを押す。

4 －I◄◄または►►I＋ボタンを押して、「ファイル移動」を選び、►再生／停止・決定ボタンを押す。

5 －I◄◄または►►I＋ボタンを押して、移動先のフォルダを選び、►再生／停止・決定ボタンを押す。

「移動中...」のアニメーションが表示され、移動先フォルダの最終ファイルの位置にファイルを移動します。
移動すると、もとのフォルダからそのファイルはなくなります。

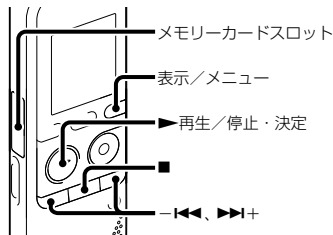
6 ■(停止)ボタンを押して、メニューモードを終了する。

途中でファイルの移動をやめるには

手順5の前に ■(停止)ボタンを押します。

ご注意

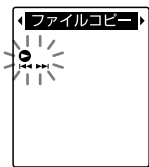
- 保護されている(58ページ)ファイルは移動できません。
- 別のメモリーにはファイルは移動できません。

ファイルを別のメモリーにコピーする

内蔵メモリーとメモリーカード間でファイルのコピーができます。バックアップをとる場合などに便利です。操作を始める前に、ファイルコピーに使用するメモリーカードをメモリーカードスロットに入れてください。

1 コピーしたいファイルを表示する。
メモリーカードのファイルを内蔵メモリーにコピーするときは、メモリーをメモリーカードに切り換えます(30ページ)。

2 停止中に表示／メニューボタンを長押しして、メニューモードに入る。
メニュー画面が表示されます。

3 －⏮または⏭＋ボタンを押して、「移動･コピー」を選び、►再生／停止･決定ボタンを押す。

4 －⏮または⏭＋ボタンを押して、「ファイルコピー」を選び、►再生／停止・決定ボタンを押す。

「メモリーカードへコピーします」または「内蔵メモリーへコピーします」のメッセージのあとに、コピー先選択画面が表示されます。

5 －⏮または⏭＋ボタンを押して、コピー先のフォルダを選び、►再生／停止・決定ボタンを押す。

「コピー中...」のアニメーションが表示され、コピー先フォルダの最後にコピーします。ファイルは同じファイル名でコピーされます。

6 ■（停止）ボタンを押して、メニューモードを終了する。

途中でコピーをやめるには

手順5の前に ■（停止）ボタンを押します。

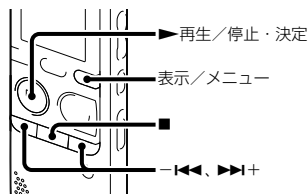
コピー中に中止するには

手順5で「コピー中...」のアニメーションが表示されているときに、■（停止）ボタンを押します。

ご注意

- ファイルコピーを始める前に、電池残量を確認してください（11ページ）。残量が少ないとコピーできません。

- コピー先のメモリーの残量が少ない場合は、ファイルコピーができない場合があります。
- コピーの途中でメモリーカードの抜き差しおよび電源を切らないでください。ファイルが破損するおそれがあります。

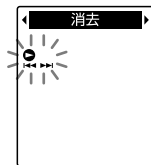
フォルダの中身を一度に消去する

ご注意

フォルダ内のファイルが保護設定されている場合（58ページ）、そのファイルは消去されません。

1 停止中に消去したいファイルの入っているフォルダを選ぶ。

2 表示／メニューボタンを長押しして、メニューモードに入る。

メニュー画面が表示されます。

3 －I◄◄または►►I＋ボタンを押して、「消去」を選び、►再生／停止・決定ボタンを押す。

4 －I◄◄または►►I＋ボタンを押して、「フォルダ内全消去」を選び、►再生／停止・決定ボタンを押す。

「フォルダ内全消去？」と表示されます。

5 －I◄◄または►►I＋ボタンを押して、「はい」を選び、►再生／停止・決定ボタンを押す。

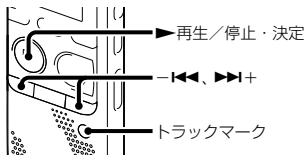
「消去中...」のアニメーションが表示され、フォルダ内の全ファイルが消去されます。

6 ■（停止）ボタンを押して、メニューモードを終了する。

途中で消去をやめるには

手順5で「いいえ」を選び、►再生／停止・決定ボタンを押します。

トラックマークを使う

トラックマークを付ける

再生時の頭出しや、分割位置の目安として利用するために、トラックマークを付けることができます。1つのファイルに98個まで設定できます。

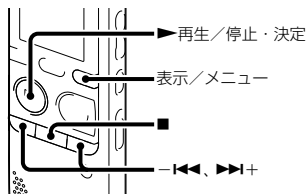
録音中、再生中、または録音一時停止中に、トラックマークを付けたい場所でトラックマークボタンを押す。
(トラックマーク)表示とトラック番号が点滅し、トラックマークが設定されます。

ご注意

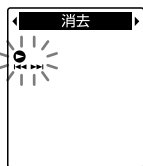
- トラックマークの0.5秒以内に別のトラックマークを設定することはできません。
- ファイルのはじめと終わりで、トラックマークの設定ができないことがあります。
- すでに98個のトラックマークがファイルに設定されている場合、新たに設定することはできません。
- 再生中にトラックマークを設定すると、再生が停止します。

トラックマークを付けた位置を探して聞くには

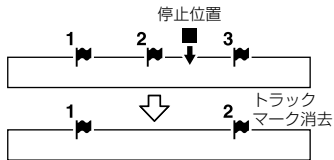
停止中に－I◄◄または►►I＋ボタンを押します。(トラックマーク)表示とトラック番号が1回点滅したら、►再生／停止・決定ボタンを押します。

トラックマークを消去する

1 消去したいトラックマーク位置の後で停止する。

2 停止中に表示／メニューボタンを長押しして、メニューモードに入る。
メニュー画面が表示されます。

3 −⏮または⏭＋ボタンを押して、「消去」を選び、▶再生／停止・決定ボタンを押す。

4 −⏮または⏭＋ボタンを押して、「トラックマーク消去」を選び、▶再生／停止・決定ボタンを押す。

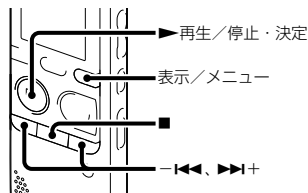
「トラックマーク消去？」と表示され、⚑（トラックマーク）表示とトラック番号が点滅します。

5 −⏮または⏭＋ボタンを押して、「はい」を選び、▶再生／停止・決定ボタンを押す。
「消去中...」のアニメーションが表示され、設定したトラックマークは消去されます。

停止位置の一つ前のトラックマークが消去される。

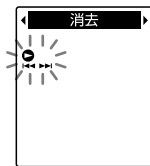
6 ■（停止）ボタンを押して、メニューモードを終了する。

途中で消去をやめるには

手順5で「いいえ」を選び、►再生／停止・決定ボタンを押します。

すべてのトラックマークを消去する

1 トラックマークを消去したいファイルを選ぶ。

2 停止中に表示／メニューボタンを長押しして、メニューモードに入る。
メニュー画面が表示されます。

3 －◄◄または►►＋ボタンを押して、「消去」を選び、►再生／停止・決定ボタンを押す。

4 －◄◄または►►＋ボタンを押して、「トラックマーク全消去」を選び、►再生／停止・決定ボタンを押す。

「トラックマーク全消去？」と表示されます。

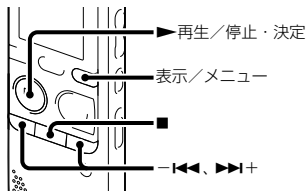
5 －◄◄または►►＋ボタンを押して、「はい」を選び、►再生／停止・決定ボタンを押す。
「消去中...」のアニメーションが表示され、すべてのトラックマークが一度に消去されます。

6 ■（停止）ボタンを押して、メニューモードを終了する。

途中で消去をやめるには

手順5で「いいえ」を選び、►再生／停止・決定ボタンを押します。

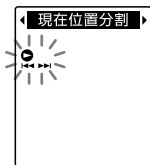
ファイルを分割する

現在位置で分割する

停止中にファイルを分割して、その場所に新しいファイル番号が付けられます。会議など1件のファイルが長時間になったときなどに、複数のファイルに分割しておくと、再生したい場所がすばやく探せ、便利です。分割したいファイルが入っているフォルダのファイル数がいっぱいになるまで、ファイルを分割できます。

1 分割したい位置で停止する。

2 停止中に表示／メニューボタンを長押しして、メニューモードに入る。
メニュー画面が表示されます。

3 －I◄◄または►►I＋ボタンを押して、「分割」を選び、►再生／停止・決定ボタンを押す。

4 －I◄◄または►►I＋ボタンを押して、「現在位置分割」を選び、►再生／停止・決定ボタンを押す。

「分割？」と表示されます。

5 －I◄◄または►►I＋ボタンを押して、「はい」を選び、►再生／停止・決定ボタンを押す。

「分割中...」のアニメーションが表示されて、分割元のファイルには「_1」が、新しいファイルには「_2」が付きます。

ファイル1	ファイル2		ファイル3
	▲ ファイル分割		
ファイル1	ファイル2_1	ファイル2_2	ファイル3

分割したファイル番号の末尾に連番（「_1」、「_2」）が振られる。

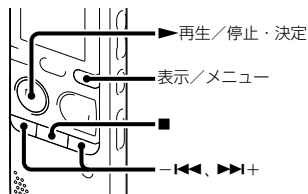
6 ■（停止）ボタンを押して、メニューモードを終了する。

ご注意

- ファイルを分割するには、メモリーに一定の空き容量が必要です。
- ファイルタイトル、アーティスト名は分割した後ろのファイルも同じになります。
- 分割したファイルは元に戻せません。
- トラックマークから前後0.5秒以内の位置で分割した場合、そのトラックマークは消去されます。
- システムの制約により、ファイルのはじめと終わりでファイルの分割ができないことがあります。

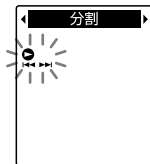
途中で分割をやめるには

手順5で「いいえ」を選び、►再生／停止・決定ボタンを押します。

すべてのトラックマーク位置で分割する

1 分割したいファイルを選ぶ。

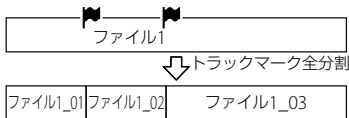
2 停止中に表示／メニューボタンを長押しして、メニューモードに入る。

メニュー画面が表示されます。

3 −⏮または⏭+ボタンを押して、「分割」を選び、►再生／停止・決定ボタンを押す。

4 －⏮または⏭＋ボタンを押して、「トラックマーク全分割」を選び、►再生／停止・決定ボタンを押す。

「トラックマーク全分割？」と表示されます。

5 －⏮または⏭＋ボタンを押して、「はい」を選び、►再生／停止・決定ボタンを押す。

「分割中...」のアニメーションが表示されて、すべてのトラックマークが消去され、トラックマークの位置で分割します。ひとつのファイルから分割されたファイルには末尾に連番（_01 ～）が振られます。

ファイル名の末尾に連番（_01 ～）が付く

6 ■（停止）ボタンを押して、メニューモードを終了する。

途中で分割をやめるには

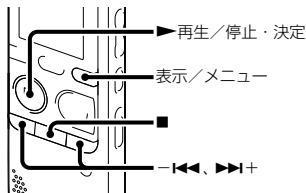
手順5で「いいえ」を選び、►再生／停止・決定ボタンを押します。

ヒント

「トラックマーク全分割」の実行中に分割を中断したいときは、■（停止）ボタンを押すことで中断できます。分割が中断されるまでのファイルについては分割されます。

ご注意

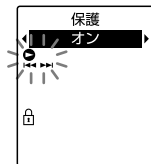
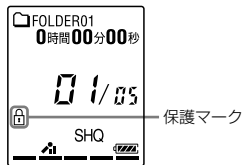
- ファイルを分割するには、メモリーに一定の空き容量が必要です。
- ファイルタイトル、アーティスト名は分割した後ろのファイルも同じになります。
- 分割したファイルは元に戻せません。

ファイルを保護する

大事なファイルを間違って消去、編集することがないように保護することができます。保護されたファイルには、🔒(保護)マークが表示され、消去、編集ができない読み取り専用ファイルになります。

1 保護したいファイルを表示する。

2 停止中に表示／メニューボタンを長押しして、メニューモードに入る。
メニュー画面が表示されます。

3 －◄◄または►►I＋ボタンを押して、「保護」を選び、►再生／停止・決定ボタンを押す。

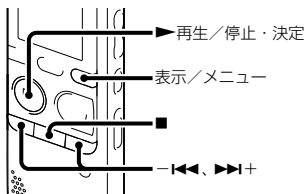
4 －◄◄または►►I＋ボタンを押して、「オン」を選び、►再生／停止・決定ボタンを押す。

5 ■（停止）ボタンを押して、メニューモードを終了する。

保護を解除するには

保護設定されたファイルを選び、手順2から手順5を実行します。その際、手順4で「オフ」を選び、►再生/停止・決定ボタンを押します。

メニューの使いかた

1 表示／メニューボタンを長押しして、メニューモードに入る。

メニュー画面が表示されます。

2 －I◄◄または►►I＋ボタンを押して、設定したい項目を選び、►再生／停止・決定ボタンを押す。

「分割」、「移動・コピー」、「消去」、「詳細メニュー」を選んだ場合は、－I◄◄または►►I＋ボタンを押して、設定したいサブメニューの項目を選び、►再生／停止・決定ボタンを押します。

3 －I◄◄または►►I＋ボタンを押して、設定したい項目を選び、►再生／停止・決定ボタンを押す。

4 －I◄◄または►►I＋ボタンを押して設定し、►再生／停止・決定ボタンを押す。

5 ■（停止）ボタンを押して、メニューモードを終了する。

ご注意

操作しない状態が60秒以上続くと、メニューモードが自動的に解除され、通常の画面に戻ります。

1つ前の画面に戻るには

メニュー操作中に表示／メニューボタンを押します。

手順2で「分割」、「移動・コピー」、「消去」、「詳細メニュー」を選んでサブメニューの項目選択画面が表示されている場合は、−⏮または⏭＋ボタンを押して、「[戻る]」を選び、►再生／停止・決定ボタンを押すと、メインメニューに戻ります。

メニューモードを中止するには

■（停止）ボタンを押します。

メニュー一覧

メニュー	動作モード（○：設定可能 ー：設定不可）		
	停止中	再生中	録音中
VOR	○	ー	○
DPC（速度調節）	○	○	ー
イージーサーチ	○	○	ー
アラーム	○	ー	ー
保護	○	ー	ー
分割	○	ー	ー
現在位置分割	○	ー	ー
トラックマーク全分割	○	ー	ー
［戻る］	○	ー	ー
移動・コピー	○	ー	ー
ファイル移動	○	ー	ー
ファイルコピー	○	ー	ー
［戻る］	○	ー	ー
消去	○	ー	ー
トラックマーク消去	○	ー	ー
トラックマーク全消去	○	ー	ー
フォルダ内全消去	○	ー	ー
［戻る］	○	ー	ー
メモリー切り換え	○	ー	ー

メニュー	動作モード（○：設定可能 ー：設定不可）		
	停止中	再生中	録音中
詳細メニュー	○	○	○
録音モード	○	ー	ー
マイク感度	○	ー	○
LCF(Low Cut)	○	ー	○
外部入力選択	○	ー	ー
連続再生	○	○	ー
ノイズカットレベル	○	○	ー
ランプ	○	ー	ー
時計設定	○	ー	ー
時刻表示形式	○	ー	ー
操作音	○	ー	ー
オートパワーオフ	○	ー	ー
フォーマット	○	ー	ー
［戻る］	○	○	○

メニュー	設定項目（*：初期設定）	参照ページ
VOR	VOR (Voice Operated Recording)機能を設定します。 オン：　ある大きさ以上の音をマイクが拾うと自動的に録音が始まり、音が小さくなると録音を一時停止します。● 録音／一時停止ボタンを押して録音を始めると、VOR機能が働きます。 オフ*：VOR機能は働きません。	27
DPC（速度調節）	DPC (Digital Pitch Control)機能を設定して、再生速度を調節します。 オン：　DPC機能を有効にします。0.50倍速から2.00倍速（x0.50～x2.00）の間で再生速度を調節できます。 オフ*：DPC機能を無効にします。	38
イージーサーチ	イージーサーチを設定します。 オン：　再生中、▶▶I＋ボタンを押すと、約10秒進め、－I◀◀ボタンを押すと、約3秒戻ります。会議録音などで、聞きたいところをすばやく探すのに便利です。 オフ*：イージーサーチ機能を無効にします。▶▶I＋または－I◀◀ボタンを押すと、ファイルを早送り／早戻しします。	36
アラーム	アラーム再生を設定します。 オン：　アラーム機能を有効にします。再生を始める日時や、曜日または毎日再生をする場合の時刻、および以下のアラームパターンを設定します。 ビープ&再生：ビープ音のあとに選んだファイルを再生します。 ビープ：ビープ音のみを鳴らします。 再生：選んだファイルのみを再生します。 オフ*：アラーム機能を無効にします。	42

メニュー		設定項目（*：初期設定）	参照ページ
保護		ファイルを保護します。 オン：　ファイルを保護して、消去や分割、移動ができないようにします。 オフ*：保護機能を無効にします。	58
分割	**現在位置分割**	ファイルをふたつに分けます。 はい：　分割を実行します。 いいえ：分割を実行しません。	55
	トラックマーク全分割	選んだファイルのすべてのトラックマークの位置で分割します。 はい：　トラックマーク全分割を実行します。 いいえ：トラックマーク全分割を実行しません。	56
移動・コピー	**ファイル移動**	選んだファイルを選んだフォルダに移動します。 移動する前に、移動したいファイルを選んでから、メニューモードにしてください。	46
	ファイルコピー	内蔵メモリーで選んだファイルをメモリーカードの選んだフォルダにコピーします。またはメモリーカードから内蔵メモリーにコピーします。 コピーする前に、コピーしたいファイルを選んでから、メニューモードにしてください。	47
消去	**トラックマーク消去**	現在位置のトラックマークを消去します。 はい：　トラックマーク消去を実行します。 いいえ：トラックマーク消去を実行しません。	51
	トラックマーク全消去	選んだファイルのすべてのトラックマークを消去します。 はい：　トラックマーク全消去を実行します。 いいえ：トラックマーク全消去を実行しません。	53

メニュー		設定項目（*：初期設定）	参照ページ
消去	フォルダ内全消去	選んだフォルダの中身をすべて消去します。 消去する前に、フォルダボタンを押して消去したいフォルダに切り換えてから、メニューモードにしてください。 はい：　フォルダ内全消去を実行します。 いいえ：フォルダ内全消去を実行しません。	49
メモリー切り換え		録音したファイルを保存する、または再生、編集、コピーするファイルが保存されているメモリーを選びます。 内蔵メモリー*：　内蔵メモリーを使用します。 メモリーカード：　本機のメモリーカードスロットに挿入されているメモリーカードを使用します。 **ご注意** メモリーカードを取り出すと、自動的に内蔵メモリーが選択されます。	30
詳細メニュー	録音モード	録音時の音質などを設定します。 192kbps(MONO)*：　モノラル超高音質モード（画面には「SHQ」と表示） 128kbps(MONO)：　モノラル高音質モード（画面には「HQ」と表示） 48kbps(MONO)：　モノラル標準モード（画面には「SP」と表示） 8kbps(MONO)：　モノラル長時間モード（画面には「LP」と表示）	–

メニュー		設定項目（*：初期設定）	参照ページ
詳細メニュー	**マイク感度**	マイク感度を設定します。 高：　広い会議室での録音など、遠くの音や小さい音を録音するときに使用します（画面には「」と表示）。 中*：会議室での録音やインタビューなど、通常の会話や打ち合わせの音声を録音するときに使用します（画面には「」と表示）。 低：　口述録音など、マイクを口元に近づけて録音したり、近くの音や大きい音を録音するときに使用します（画面には「」と表示）。	–
	LCF(Low Cut)	LCF（Low Cut Filter）機能を設定して、低い周波数の音をカットし、プロジェクターなどのノイズや風切り音を軽減することで音声をよりクリアに録音できます。 オン：　LCF機能を有効にします。 オフ*：LCF機能を無効にします。	–
	外部入力選択	（マイク）ジャックから録音する外部入力を選択します。 MIC IN*：　外部マイクをつないだときに選びます。 Audio IN：オーディオケーブルなど、外部マイク以外のものをつないだときに選びます。	32、33
	連続再生	連続再生モードを設定します。 オン：　フォルダ内のファイルを連続再生します。 オフ*：1件のファイルを再生します。	39
	ノイズカットレベル	ノイズカットの効果を調節します。 強*：ノイズカットレベルを強くします。 弱：　ノイズカットレベルを弱くします。「強」にして音声が聞き取りにくいときに選びます。	37
	ランプ	録／再ランプの点灯、消灯を設定します。 オン*：動作中は録／再ランプが点灯または点滅します。 オフ：　動作中も録／再ランプは点灯／点滅しません。	–

メニュー		設定項目（*：初期設定）	参照ページ
詳細メニュー	時計設定	アラーム機能を使用したり、録音した日時を記録するために、時計を合わせます。 ① 表示／メニューボタンを長押しして、メニューモードに入り、「詳細メニュー」、「時計設定」の順に選ぶ。 ② 年月日と時分を合わせる。 －⏮または⏭＋ボタンを押して、年、月、日、時、分の順で数字を選び、►再生／停止・決定ボタンを押します。 年を設定するときは、西暦の下2桁の数字を選んでください。 分まで設定すると「実行中...」のアニメーションが表示され、メニュー画面に戻ります。	13
	時刻表示形式	時刻表示形式を設定します。 12時間： 12：00AM＝真夜中、12：00PM＝正午 24時間*：0：00＝真夜中、12：00＝正午	–
	操作音	確認音を設定します。 オン*： 操作時の受け付け確認音およびエラー時の操作音が鳴ります。 オフ： 操作時の受け付け確認音やエラー音が鳴りません。 **ご注意** 「オフ」に設定していてもアラームは鳴ります。	–
	オートパワーオフ	操作されないまま設定した時間がたつと、自動的に電源が切れます。 5分： 約5分後に電源が切れます。 10分*：約10分後に電源が切れます。 30分： 約30分後に電源が切れます。 60分： 約60分後に電源が切れます。 オフ： 電源は自動的に切れません。	–

メニュー		設定項目（*：初期設定）	参照ページ
詳細メニュー	フォーマット	現在選択されているメモリー（内蔵メモリーまたはメモリーカード）を初期化します。メモリー内のすべてのデータを消去します。 はい：「フォーマット中...」のアニメーションが表示され、初期化します。 いいえ：初期化しません。 **ご注意** • 本機で使うメモリーカードはパソコンでフォーマットしないでください。必ず本機で行ってください。 • あらかじめ初期化したいメモリーに切り換えてから（30ページ）、フォーマットを実行してください。 • フォーマットをすると保存したすべてのデータが消去されます。一度消去した内容はもとに戻すことはできません。ご注意ください。	－

使用上のご注意

ご使用場所について

運転中のご使用は危険ですのでおやめください。

取り扱いについて

- 落としたり、強いショックを与えたりしないでください。故障の原因になります。
- 次のような場所には置かないでください。
  - 温度が非常に高いところ(60℃以上)。
  - 直射日光のあたる場所や暖房器具の近く。
  - 窓を閉めきった自動車内(特に夏期)。
  - 風呂場など湿気の多いところ。
  - ほこりの多いところ。
- 水がかからないようご注意ください。本機は防水仕様ではありません。特に以下の場合ご注意ください。
  - 洗面所などで本機をポケットに入れての使用。
    身体をかがめたときなどに、落として水濡れの原因になる場合があります。
  - 雨や雪、湿度の多い場所での使用。
  - 汗をかく状況での使用。
    濡れた手で触ったり、汗をかいた衣服のポケットに本機を入れると、水濡れの原因になることがあります。
- 空気が乾燥する時期にヘッドホンを使用すると、耳にピリピリと痛みを感じることがありますが、ヘッドホンの故障ではなく、人体に蓄積された静電気によるものです。静電気の発生しにくい天然素材の衣服を身に着けていただくことにより、軽減されます。

万一故障した場合は、内部を開けずにお買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。

ノイズについて

- 録音中や再生中に本機を電灯線、蛍光灯、携帯電話などに近づけすぎると、ノイズが入ることがあります。
- 録音中に本機に手などが当たったり、こすったりすると、雑音が録音されることがあります。

お手入れ

本体表面が汚れたときは、水気を含ませた柔らかい布で軽くふいたあと、からぶきします。シンナーやベンジン、アルコール類は表面の仕上げを傷めますので使わないでください。

バックアップのおすすめ

万一の誤消去や、本機の故障などによるデータの消滅や破損にそなえ、大切な録音内容は、必ずメモリーカードにバックアップしてください。

メモリーカードのご使用について

ご注意

- フォーマット(初期化)は必ず本機で行ってください。パソコンなど本機以外の機器を用いてフォーマットしたメモリーカードは、本機での動作を保証しません。
- すでにデータが書き込まれているメモリーカードをフォーマットすると、そのデータが消去されてしまいます。誤って大切なデータを消去することがないよう、ご注意ください。
- メモリーカードは、小さいお子様の手の届くところに置かないようにしてください。誤って飲み込むおそれがあります。
- 録音/再生/フォーマット中は、メモリーカードを抜き差ししないでください。故障の原因となります。
- 表示窓に「アクセス中...」のアニメーションが表示されている間や、録/再ランプがオレンジに点滅している間はメモリーカードを取り出さないでください。データが破損するおそれがあります。
- 対応仕様のメモリーカードでも、すべてのメモリーカードでの動作を保証するものではありません。
- M2™の対応表については、http://www.sony.jp/products/ms/compatible/icrecorder.html をご覧ください。
- "MagicGate™"(マジックゲート)は、ソニーが開発した、著作権を保護する技術の総称です。本機は、MagicGate™によるデータ録音、再生には対応していません。
- 本機はパラレルデータ転送には対応していません。
- ROMタイプのメモリーカード、誤消去防止、書込み禁止のメモリーカードは、ご使用になれません。
- 以下の場合、データが破壊されることがあります。
  - 読み込み中、書き込み中にメモリーカードを取り出したり、機器の電源を切った場合
  - 静電気や電気的ノイズの影響を受ける場所で使用した場合
- お客様の記録したデータの破損(消滅)については、弊社は一切その責任を負いかねますのでご容赦ください。
- 大切なデータは、バックアップを取っておくことをおすすめします。
- 端子部には手や金属などを触れないでください。
- 強い衝撃を与えたり、曲げたり、落としたりしないでください。
- 分解したり、改造したりしないでください。
- 水にぬらさないでください。
- 以下のような場所でのご使用はしないでください。
  - 使用条件範囲以外の場所(炎天下や夏場の窓を閉め切った車の中、直射日光のあたる場所、熱器具の近くなど)
  - 湿気の多い場所や腐食性のものがある場所
- ご使用の際は正しい挿入方向をご確認ください。

主な仕様

本機の仕様

容量（ユーザー使用可能領域）
2 GB（約1.80 GB = 1,932,735,283 Byte）

メモリー容量の一部をデータ管理領域として使用しています。

周波数範囲
SHQ：75 Hz ～ 20,000 Hz
HQ：75 Hz ～ 17,000 Hz
SP：75 Hz ～ 14,000 Hz
LP：75 Hz ～ 3,500 Hz

各録音モードのMP3対応サンプリング周波数、ビットレート
SHQ：44.1kHz 192kbps
HQ：44.1kHz 128kbps
SP：44.1kHz 48kbps
LP：11.025kHz 8kbps

スピーカー
直径28 mm

入・出力端子
外部入力（ステレオミニジャック）
プラグインパワー対応
最小入力レベル：0.6 mV
ヘッドホン（ステレオミニジャック）
負荷インピーダンス：8 Ω～ 300 Ω
メモリースティック マイクロ™（M2™）／
microSD対応スロット

再生スピード調節（DPC）
2倍速～ 0.50倍速

実用最大出力
300 mW

電源
DC3.0 V、単4形アルカリ乾電池（付属）2本
DC2.4 V、単4形充電式ニッケル水素電池（別売）2本

動作温度
5℃～ 35℃

最大外形寸法
約37.5 mm×114 mm×20.9 mm
（幅／高さ／奥行き）（JEITA*[1]）

質量
約74 g（アルカリ乾電池2本含む）（JEITA*[1]）

*[1] 電子産業技術協会（JEITA）の測定方法に基づいています。

付属品
7ページ参照

別売アクセサリー
メモリースティック マイクロ™（M2™）
MS-A8GDP、MS-A4GDP
microSD/microSDHC SR-8A4、SR-4A4、SR-2A1
アクティブスピーカー SRS-M50
エレクトレットコンデンサーマイクロホン
ECM-CS10、ECM-CZ10、ECM-DS70P、ECM-DS30P、ECM-TL1
オーディオコード RK-G136

充電式ニッケル水素充電池単4形
NH-AAA-2BKB
ニッケル水素電池専用充電器 BCG34HSS

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

最大録音時間[*2*3]

最大録音時間は、全フォルダ合わせて表のとおりです。

録音モード	録音シーン	内蔵メモリー	メモリーカード				
		ICD-BX312	2 GB	4 GB	8 GB	16 GB	32 GB
192kbps(MONO)(SHQ)	会議() インタビュー () おけいこ() オーディオ入力() 	22時間20分	22時間20分	44時間40分	89時間25分	178時間0分	357時間0分
128kbps(MONO)(HQ)	ボイスメモ()	33時間30分	33時間30分	67時間5分	134時間0分	268時間0分	536時間0分
48kbps(MONO)(SP)	−	89時間25分	89時間25分	178時間0分	357時間0分	715時間0分	1,431時間0分
8kbps(MONO)(LP)	−	536時間0分	536時間0分	1,073時間0分	2,147時間0分	4,294時間0分	8,589時間0分

*2 連続録音の場合は、途中電池交換が必要になります。詳しくは電池の持続時間(74ページ)をご確認ください。

*3 表記の最大録音時間は目安です。カードの仕様によって変わることがあります。

電池の持続時間

乾電池の持続時間[*1]（ソニーアルカリ乾電池LR03（SG）を連続使用時）

録音モード	録音時	スピーカー再生時[*2]	ヘッドホン再生時
192kbps(MONO) (SHQ)	約55時間	約16時間	約41時間
128kbps(MONO) (HQ)	約55時間	約16時間	約41時間
48kbps(MONO) (SP)	約60時間	約16時間	約41時間
8kbps(MONO) (LP)	約72時間	約16時間	約41時間

充電式電池の持続時間[*1]（ソニー充電式ニッケル水素電池NH-AAA-2BKBを連続使用時）

録音モード	録音時	スピーカー再生時[*2]	ヘッドホン再生時
192kbps(MONO) (SHQ)	約37時間	約11時間	約30時間
128kbps(MONO) (HQ)	約37時間	約11時間	約30時間
48kbps(MONO) (SP)	約39時間	約11時間	約30時間
8kbps(MONO) (LP)	約50時間	約11時間	約30時間

*1 電池持続時間は当社試験法によるものです。使用条件によって短くなる場合があります。

*2 音量レベルを14に設定し、内蔵スピーカーで音楽を再生した場合。

保証書とアフターサービス

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間はお買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときはサービスへ

ソニーの相談窓口（裏表紙）、お買い上げ店、またはソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社ではICレコーダーの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後6年間保有しています。

故障かな？と思ったら

修理を依頼される前に、もう一度下記項目をチェックしてみてください。それでも解決しない場合、ご不明な点は、裏表紙に記載のICレコーダー・カスタマーサポートページをご覧いただくか、ソニーの相談窓口（裏表紙）までお問い合わせください。
なお、保証書とアフターサービスについては、75ページをご参照願います。
修理に出すと、録音した内容が消えることがあります。ご了承ください。

こんなときは

症状	原因／処置
雑音が入る。	• 録音したとき、本機をこすってしまい、雑音が録音された。 • 録音中や再生中に本機を電灯線、蛍光灯、携帯電話などに近づけすぎると、ノイズが入ることがあります。 • 外部マイク（別売）で録音したとき、マイクのプラグが汚れていた。 → プラグをきれいにクリーニングする。 • ヘッドホン（別売）で聞いているとき、ヘッドホンのプラグが汚れている。 → プラグをきれいにクリーニングする。 • 録音時の一時停止、VOR録音のつなぎ目でもノイズが入ることがあります。
電源が切れない。	• 停止中にホールド・電源 入／切スイッチを「電源 入／切」の方向へ2秒以上スライドする（12ページ）。
電源が入らない。	• 電源がオフになっている。 → ホールド・電源 入／切スイッチを「電源 入／切」の方向へ1秒以上スライドする（12ページ）。 • 電池の ⊕ と ⊖ の向きが正しくない（10ページ）。
電源が自動的に切れる。	• 停止状態で操作をしないまま放置していると、「オートパワーオフ」機能が働きます。（お買い上げ時は、設定は10分になっています。）メニューでオートパワーオフ設定を変更すると、電源オフまでの時間を変更できます（67ページ）。
正常に動作しない。	• 電池を取り出して、もう一度入れ直す。
起動に時間がかかる。	• ファイル数が多いと、起動するのに時間がかかることがありますが、故障ではありません。停止画面になるまでお待ちください。

症状	原因／処置
操作ボタンを押しても動作しない。	• 電池が消耗している（11ページ）。 • 電源がオフになっている。 → ホールド・電源 入／切スイッチを「電源 入／切」の方向へ1秒以上スライドする（12ページ）。 • ホールドがオンになっている。 → ホールド・電源 入／切スイッチを中央位置にスライドする（9ページ）。
スピーカーから音が出ない。	• 音量が絞られている（20ページ）。 • ヘッドホンをつないでいる（36ページ）。
片方のチャンネルからしか音が出ない。	• ほかの機器の出力がモノラルの場合、「録音モード」が「192kbps(MONO)」（SHQ）または「128kbps(MONO)」（HQ）に設定されていると、片方のチャンネルにしか音が録音されません。その場合は、「録音モード」を「48kbps(MONO)」（SP）または「8kbps(MONO)」（LP）に設定してください（65ページ）。
ヘッドホンをつないでいても、スピーカーから音が出る。	• 再生中にヘッドホンを差し込むとき、最後まで差し込まないとスピーカーからも音が聞こえてしまうことがあります。 → いったんヘッドホンを抜いて、最後までしっかり差し込む。
録／再ランプが点灯しない。	• メニューの「ランプ」が「オフ」に設定されている。 → 「オン」に切り換える（66ページ）。
「メモリーが一杯です」が表示され、録音できない。	• メモリーがいっぱいになっている。 → 不要なファイルを消去する（24ページ）か、別のメモリーに保存してから、メモリーの内容を消去する。
「ファイルが一杯です」が表示され、操作できない。	• 選んだフォルダ（□）に199件のファイルが入っているため、録音やファイル移動ができない。 → 不要なファイルを消去する（24ページ）か、別のメモリーに保存してから、メモリーの内容を消去する。
録音できない。	• 録音残り時間が不足している場合は録音できません。

症状	原因／処置
再生音量が小さい。	• 音量が絞られている。 → 音量－／＋ボタンを押して音量を調節する（20ページ）。 • シーンセレクトが「ボイスメモ」（）または「オーディオ入力」（）になっている。 → 録音状況にあったシーンセレクトにする（26ページ）。 • マイク感度が「低」（）になっている。 → 「高」（）または「中」（）のいずれかに切り換える（66ページ）。
録音が途中で止まる。	• VORが作動している。VORを使用しないときは、メニューで「オフ」にする（27ページ）。
ほかの機器から録音するとき、録音レベルが小さすぎたり大きすぎたりする。	• ほかの機器のヘッドホン端子を使って本機と接続し、つないだ機器側で音量を調節してください。
再生スピードが速すぎたり遅すぎたりする。	• メニューの「DPC（速度調節）」が「オン」になっているため、調節した再生スピードで再生されている。 → 「DPC（速度調節）」を「オフ」にすると、通常の速度で再生されます。または、再生スピードを調節してください（38ページ）。
ファイルを分割できない。	• メモリーに一定の空き容量がない。 • 選んだフォルダ（）に199件のファイルが入っている。 → 不要なファイルを消去する（24ページ）か、別のメモリーに保存してから、メモリーの内容を消去する。 • システムの制約により、ファイルのはじめと終わりでファイル分割できないことがあります。
メモリーカードが認識されない。	• 本機のメモリーを「メモリーカード」に切り換えてください（30ページ）。 • メモリーカードを取り出し、裏表を確認して再度入れ直してください。
時計表示が「--:--」になる。	• 時計を合わせていない（13ページ）。
録音日時表示が「--y--m--d」または「--:--」になる。	• 時計を合わせていないときに録音したファイルには、録音した日付は表示されません。
メニュー表示の項目が足りない。	• 再生、録音中は、表示されないメニューがあります（62ページ）。

症状	原因／処置
電池の持続時間が短い。	• 74ページの電池の持続時間は、音量レベルを14で再生した場合の目安です。使用条件によって短くなる場合があります。
電池を入れたまま長い期間使用しない後で、使おうとすると電池がなくなっている。	• 使用しない場合でも、わずかですが電池を消耗します。長い間ご使用にならない場合は、こまめに電源を切る(12ページ)か、電池をはずしておくことをおすすめします。また、オートパワーオフ設定(67ページ)時間を短くしておくと切り忘れでの電池の消耗を抑えることができます。
充電式電池の持続時間が短い。	• 5℃以下の環境で使用しています。電池の特性によるもので故障ではありません。 • しばらく使用していませんでした。何回か充電、放電(本機に入れて使用する)を繰り返してください。 • 充電式電池の交換が必要です。新しい充電式電池と交換してください。
変更したメニュー設定が反映されていない。	• 設定変更直後に電池が抜かれた場合、本機のメニュー設定が反映されないことがあります。
「アクセス中...」のアニメーション表示が消えない。	• ファイル数が多いと、長時間表示されることがありますが、故障ではありません。表示が消えるまでお待ちください。
ファイルコピーに時間がかかる。	• ファイルサイズによっては、コピーに時間がかかることがあります。実行が終わるまでお待ちください。

メッセージ表示一覧

メッセージ	原因
ホールド中 解除してください	• 本機が誤操作防止(ホールド)状態になっているため、すべてのボタン操作が無効になっています。ホールド・電源 入／切スイッチを中央位置にスライドして、ホールドを解除してください(9ページ)。
電池残量がありません	• 電池が消耗しています。新しい単4形乾電池と取り換えてください。充電式電池の場合は、充電済みの電池と取り換えてください。
メモリーカードエラー	• メモリーカードスロットにメモリーカードを挿入時にエラーが発生しました。いったんメモリーカードを抜き差ししてください。それでも同じエラーが表示される場合は、別のメモリーカードをお使いください。
非対応のメモリーカードです	• 本機が対応していないメモリーカードが使われています。「本機で使用できるメモリーカード」をご覧ください(29ページ)。 • 正規品ではないM2™が使われています。「本機で使用できるメモリーカード」をご覧ください(29ページ)。
読み取り専用のメモリーカードです	• 読み取り専用メモリーカードが使われています。本機ではお使いいただけません。
メモリーカードがロックされています	• メモリーカードが書き込み禁止になっています。本機ではお使いいただけません。
アクセスは禁止されています	• アクセスコントロール機能が有効なメモリーカードが使われているため、ご利用できません。
メモリーが一杯です	• 録音できるメモリー容量がなくなりました。いくつかのファイルを消去してからやり直してください。
ファイルが一杯です	• フォルダ内のファイルの合計か、全体のファイル数が最大になったため、新規のファイルを作成できません。いくつかのファイルを消去してからやり直してください。
ファイルが壊れています	• 選んだファイルのデータが破損しているので、再生や編集ができません。
本機でフォーマットが必要です	• メモリーカード内の別ファイル(画像データなど)によって、初期フォルダを作成するために必要な容量が不足しています。メニューで本機のフォーマットをしてください(68ページ)。

メッセージ	原因
処理を継続できません	• 電池を抜き差ししてみてください。 • 必要なデータをバックアップしてからメニューで本機をフォーマットしてください(68ページ)。 • 上記で解決しない場合は、ソニーの相談窓口(裏表紙)までご連絡ください。
停止後メモリーカードを再挿入して下さい	• 再生、録音処理中にメモリーカードを挿入したため、メモリーカードが認識できませんでした。一度メモリーカードを抜いてから、停止状態のときに、挿入してください。
時計を設定してください	• 時計合わせをしていないと、アラームは設定できません。
トラックマークが一杯です	• すでに上限までトラックマークを設定しているため、これ以上追加できません。不要なトラックマークを消去してください(51ページ)。
ファイルがありません	• 選んだフォルダには1件もファイルが録音されていません。ファイル移動とアラーム再生の設定などの操作ができません。
トラックマークがありません	• トラックマークが設定されていないため、トラックマークの消去、全分割が実行できません。
電池が残りわずかです	• 電池が残りわずかのため、フォーマットやフォルダ内全消去ができません。新しい単4形乾電池と取り換えてください。充電式電池の場合は、充電済みの電池と取り換えてください。
既に設定済みです	• 選んだファイルには既にアラーム再生が設定されています。別のファイルを選択してください。 • 既に別のファイルで同じ日時にアラーム再生が設定されています。設定を変更してください(42ページ)。
過去の日時です	• 現在日時よりも前の日時でアラームを設定しようとしています。年月日などもう一度確認して、設定し直してください(42ページ)。
ファイルが保護されています	• 選んだファイルが保護設定されています。消去などができません。メニューで「保護」を「オフ」にしてください(58ページ)。
非対応のデータです	• 本機で対応していないファイル形式のデータです。

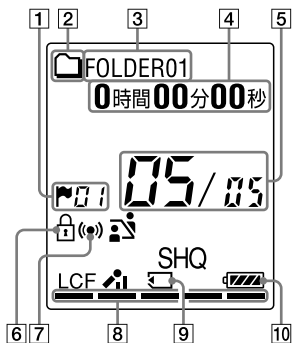
メッセージ	原因
操作できません	• メモリーカードが後発不良(BADBLOCK)になった場合、データの書き込みができません。新しいメモリーカードを準備してください。 • ファイル名が最大文字数に達しているため、分割できません。 • 分割実行位置の前後0.5秒未満にトラックマークが設定されているため、「トラックマーク全分割」が実行できません。 • ファイルの先頭または終端から0.5秒未満にトラックマークが設定されているため、「トラックマーク全分割」が実行できません。 • ファイルの長さが1秒未満のため、分割できません。 • ファイルの先頭または終端から0.5秒未満では、「現在位置分割」は実行できません。
上限を超えるため分割できません	• フォルダ内のファイルの合計か、全体のファイル数が最大になったため、ファイルの分割はできません。不要なファイルを消去してからやり直してください。
同名のファイルが存在します	• 作成されるファイルと同名のファイルが存在しているため、ファイルの作成ができません。
メモリーカードがありません	• メモリーカードスロットにメモリーカードが挿入されていないため、「メモリー切り換え」、「ファイルコピー」の設定はできません。
新しいファイルで録音を継続します	• 録音中のファイルがファイルサイズの上限(500 MB)に達しています。ファイルは自働的に分割され、録音を継続します。
付近のトラックマークを消去しました	• 分割実行位置の前後0.5秒以内にトラックマークが設定されていた場合は、自動的に消去されます。
メモリーカードでは操作できません	• メモリーカードに保存しているファイルには、アラーム設定できません。本機のメモリーを「内蔵メモリー」に切り換えてください(30ページ)。
故障です	• 何らかの原因でシステムエラーが発生しています。一度電池をはずし、再度入れ直してください。それでも動作しない場合は、ソニーの相談窓口(裏表紙)までご連絡ください。

システム上の制約

ICレコーダーの録音方式では、いくつかのシステム上の制約があり、次のような症状が出る場合があります。これらは故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。

症状	原因／処置
最大録音時間まで録音できない。	• 様々な録音モードを混ぜて録音すると、最大録音時間は各モードの最大録音時間の間になります。 • 上記の理由により、実際に録音した時間（カウンター表示）の合計と、「録音可能時間」を合計した時間が、最大録音時間より少なくなる場合があります。
録音中に自動的に分割されてしまう。	• 録音中のファイルがファイルサイズの上限（500 MB）に達しています。ファイルは自動的に分割されます。
A-Bリピート設定で、設定位置がずれてしまう。	• ファイルによっては、設定位置がずれてしまうことがあります。
ファイルを分割すると、録音可能時間が少なくなる。	• ファイルを分割すると、ファイル管理をする領域が必要になるため、録音可能時間が少なくなります。

表示窓について

停止時

1 トラックマーク表示
現在位置のトラックマーク番号が表示されます。トラックマークが設定されているときにだけ表示されます。

2 フォルダ情報表示
：録音可能フォルダ
：再生専用フォルダ
：ポッドキャストフォルダ

3 フォルダ名表示

4 ファイル情報表示
表示／メニューボタンを押して、ファイル情報を順に切り換えることができます。経過時間、残り時間、録音日時、ファイル名、タイトル、アーティスト名が順に表示されます。
：ファイル名
：タイトル
：アーティスト名（再生時のみ）

5 位置情報表示
選んだファイル番号が分子に、フォルダ内の総ファイル数が分母に表示されます。

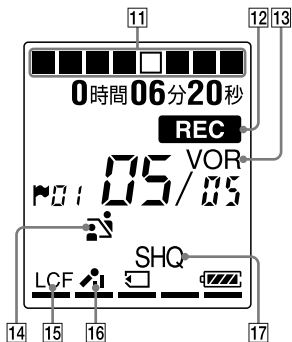
6 保護マーク表示
ファイルが保護設定されているとき表示されます。

7 アラーム表示
ファイルにアラームが設定されているとき表示されます。

8 メモリー残量表示
録音中に残量が減ると、ひとつずつ消えていきます。

9 メモリーカード表示
現在使用しているメモリーがメモリーカードのときにのみ表示されます。内蔵メモリーを使用中は何も表示されません。

10 電池マーク表示

録音時

11 録音時のアニメーション表示
録音の進行状況をアニメーション表示します。

12 録音表示
録音中に表示されます。

13 VOR録音表示
「VOR」が「オン」に設定されているときに表示されます。

14 シーンセレクト設定表示
選択しているシーンが表示されます。シーンが設定されているときにだけ表示されます。
：会議
：ボイスメモ
：インタビュー
：おけいこ
：オーディオ入力

15 LCF表示
「LCF(Low Cut)」が「オン」に設定されているときに表示されます。

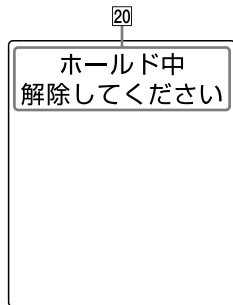
16 マイク感度表示
録音時のマイクの感度が表示されます。
：高
：中
：低

17 録音モード表示
停止中はメニューで設定されている録音モードが、再生中または録音中はそのファイルの録音モードが表示されます。
SHQ：モノラル超高音質モード (192kbps(MONO))
HQ：モノラル高音質モード (128kbps(MONO))
SP：モノラル標準モード (48kbps(MONO))
LP：モノラル長時間モード (8kbps(MONO))

再生時

ホールド状態時

18 再生モード表示
1：1件ファイルリピート
A-B：A-Bリピート
速度 x2.00：DPC再生（x0.50 ～ x2.00）
ALARM：アラーム再生

19 EASY-S（イージーサーチ）表示
「イージーサーチ」が「オン」に設定されているときに表示されます。

20 ホールド表示
誤操作防止（ホールド）状態でボタンが押されたときに表示されます。すべてのボタン操作が無効になっています。
ホールドを解除するには、ホールド・電源 入／切スイッチを中央位置にスライドします（9ページ）。

⚠注意 下記の注意事項を守らないとけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

内部を開けない

感電の原因となることがあります。内部の点検や修理はお買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。

大音量で長時間つづけて聞きすぎない

耳を刺激するような大きな音量で長時間つづけて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。とくにヘッドホンで聞くときにご注意ください。呼びかけられて返事ができるくらいの音量で聞きましょう。

はじめからボリュームを上げすぎない

突然大きな音がでて耳を痛めることがあります。

- 本製品の不具合により、録音や再生ができなかった場合、および録音内容が破損または消去された場合など、いかなる場合においても録音内容の補償についてはご容赦ください。
  また、いかなる場合においても、当社にて録音内容の修復、復元、複製などはいたしません。
- 本製品を使用したことによって生じた金銭上の損害、逸失利益および第三者からのいかなる請求につきましても、当社は一切その責任を負いかねます。
- 録り直しのきかない録音の場合は、必ず事前にためし録りをしてください。
- お客様が録音したものは個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

バックアップのおすすめ

万一の誤消去や、ICレコーダーの故障などによるデータの消滅や破損にそなえ、大切な録音内容は、必ず予備としてパソコンまたはメモリーカードに保存してください。

電池についての安全上のご注意

液漏れ・破裂・発熱・発火・誤飲による大けがや失明を避けるため、以下の注意事項を必ずお守りください。

電池の種類については、電池本体上の表示をご確認ください。
種類によっては該当しない注意事項もあります。

充電式電池
ニカド(Ni-Cd)
ニッケル水素(Ni-MH)
リチウムイオン(Li-ion)

乾電池
アルカリ、マンガン

ボタン型電池
リチウムなど

⚠危険 **充電式電池、乾電池、ボタン型電池が液漏れしたとき**

- 充電式電池、乾電池の液が漏れたときは素手で液をさわらない。
- 液が本体内部に残ることがあるため、ソニーの相談窓口(裏表紙)またはソニーサービス窓口に相談する。
- 液が目に入ったときは、失明の原因になることがあるため、目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分洗い、ただちに医師に相談する。
- 液が身体や衣服についたときは、やけどやけがの原因になるため、すぐにきれいな水で洗い流し、皮膚に炎症やけがの症状があるときには医師に相談する。

⚠危険 **充電式電池について**

- 機器の表示に合わせて＋と－を正しく入れる。
- 取扱説明書に記載された充電方法以外で充電しない。
- バッテリーキャリングケースが付属されている場合は、必ずキャリングケースに入れて携帯、保管する。
- 火の中に入れない。
- ショートさせたり、分解、加熱しない。
- コイン、キー、ネックレスなどの金属類と一緒に携帯、保管しない。
- 火のそばや直射日光のあたるところ、炎天下の車中など、高温の場所で使用、保管、放置しない。
- 水などで濡らさない。風呂場などの湿気の多いところで使わない。
- 外装のビニールチューブをはがしたり、傷つけない。
- 指定された種類の充電式電池以外は使用しない。
- 長時間使用しないときは取りはずす。
- 液漏れした電池は使わない。
- 種類の違う電池を混ぜて使わない。

日本国内での充電式電池の廃棄について

Ni-MH

ニッケル水素充電池は、リサイクルできます。不要になったニッケル水素充電池は、金属部にセロハンテープなどの絶縁テープを貼って充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。

充電式電池の回収・リサイクルおよびリサイクル協力店については有限責任中間法人JBRCホームページ http://www.jbrc.net/hp/contents/index.html を参照してください。

⚠警告 乾電池、ボタン型電池について

- 小さい電池は飲み込むおそれがあるので、乳幼児の手の届かないところに保管する。**電池を飲み込んだときは、窒息や胃などへの障害の原因になるので、ただちに医師に相談してください。**
- 機器の表示に合わせて＋と－を正しく入れる。
- 充電しない。
- 火の中に入れない。
- ショートさせたり、分解したり、加熱したりしない。
- コイン、キー、ネックレスなどの金属類と一緒に携帯、保管しない。
- 使い切った電池は取りはずす。長時間使用しないときも取りはずす。
- 新しい電池と使用した電池、種類の異なる電池を混ぜて使わない。
- 液漏れした電池は使わない。

⚠注意 乾電池、ボタン型電池について

- 火のそばや直射日光の当たるところ、炎天下の車中など、高温の場所で使用、保管、放置しない。
- 水などで濡らさない。風呂場などの湿気の多いところで使わない。
- 外装のビニールチューブをはがしたり、傷つけない。
- 指定された種類の電池以外は使用しない。

お願い

使用済み充電式電池は貴重な資源です。端子（金属部分）にテープを貼るなどの処理をして、充電式電池リサイクル協力店にご持参ください。

索引

数字、記号、アルファベット順

五十音順

あ行

か行

さ行

た行

な行

は行

ま行

ら行

お問い合わせ窓口のご案内

本機についてご不明な点や技術的なご質問、故障と思われるときのご相談については、下記のお問い合わせ先をご利用ください。

- **ホームページで調べるには→ IC レコーダー・カスタマーサポートへ**
  (http://www.sony.jp/support/ic-recorder)
  IC レコーダーに関する最新サポート情報や、よくあるお問い合わせとその回答をご案内するホームページです。
- **電話・FAX でのお問い合わせは→ソニーの相談窓口へ(下記電話・FAX 番号)**
  - 本機の商品カテゴリーは[IC レコーダー]です。
  - お問い合わせの際は、次のことをお知らせください。

    ◆セット本体に関するご質問時:
    - 型名:ICD-BX312
    - シリアルナンバー:電池ボックス内
    - ご相談内容:できるだけ詳しく
    - お買い上げ年月日

    ◆付属のソフトウェアに関連するご質問時:
    質問の内容によっては、お客さまのシステム環境について質問させていただく場合があります。上記内容に加えて、システム環境を事前に分かる範囲でご確認いただき、お知らせください。

よくあるお問い合わせ、窓口受付時間などはホームページをご活用ください。　**http://www.sony.jp/support/**

使い方相談窓口	フリーダイヤル	**0120-333-020**
	携帯電話・PHS・一部のIP電話	**0466-31-2511**
修理相談窓口	フリーダイヤル	**0120-222-330**
	携帯電話・PHS・一部のIP電話	**0466-31-2531**

※取扱説明書・リモコン等の購入相談はこちらへお問い合わせください。

➡ 左記番号へ接続後、最初のガイダンスが流れている間に「303」+「#」を押してください。直接、担当窓口へおつなぎします。

FAX(共通)0120-333-389

ソニー株式会社　〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

* 4 2 6 7 0 6 5 0 2 * (1)